



広報

つがる

2007

8.15

No.61

● 市の人口と世帯数（平成19年8月1日現在） ● 人口 39,093人（男 18,711人／女 20,382人） ● 世帯数13,360世帯



夏の夜を焦がす つがる市ネブタ

7月26日から開催された、つがる市ネブタ祭りでは11台のネブタが出陣し、夏の夜を熱狂させました。

各団体が力を込めて製作したネブタは勇壮に町内を練り歩き、観客からは大きな拍手が送られていました。

また、出陣式ではYOSAKOI風の踊りや創作踊りが披露され観客を楽しませてくれました。

主な内容

- ・ つがるブランド販売促進PR活動！ 2
- ・ チェスボローカップ、旭富士杯相撲大会 3～4
- ・ アラカルト 5
- ・ 街の話題 6～8
- ・ おしらせ 9～12
- ・ 青森県総合防災訓練実施のお知らせ 13

つがるブランド認定生産者決定

7月23日、つがるブランド主要農産物（米・リンゴ・メロン・スイカ・トマト・ゴボウ・ネギ・ナガイモ）、加工品を活用したつがるブランド品の認定会議が行われました。

屏風山蔬菜（そさい）生産組合とつがるにしきた農協及び木造町農協を通じて申請があった6品目803件の生産者について認定委員会が審査を行い、市独自の栽培規準で生産されているか慎重に審査した結果、757件の生産者が認定されました。

今回認定された農家は「認定生産者」となり、生産する農産物にはつがるブランドのイメージキャラクター「つがるちゃん」の認定シールが貼られ安心安全な農産物としてこれから市場に出回っていきます。



つがるブランド認定シール

名古屋、大阪でブランドPR作戦



つがるブランドの全国発信と知名度アップ、販売促進のため、7月28、29日の両日、名古屋市、大阪市の大型スーパーでつがるブランドメロンの試食・販売会を開催しました。

福島市長は、つがる市の紹介や特産品のメロン（タカミ、ホームラン、アスコット、レノン）などの農産物をPRしました。

販売会では津軽三味線娘の演奏会なども行われ、昨年の実績もあったことから開店前には大勢の買い物客が列をつくり、準備したメロン2,000個が瞬く間に完売しました。

また、応援隊としてブランドマスコット「つがるちゃん」と「ミスつがる」が一緒にPR活動を行いました。

7月24日、木造町農協選果場において、つがるブランド認定メロンの初出荷式が行われました。

今回認定された、タカミメロン6,000ケースは10トトラック5台に積み込まれ名古屋・大阪に出荷されました。

出荷式で福島市長は「農家が丹精込めて作ったメロンを全国の皆さんに食べて頂きたいと思います」とあいさつ、ミスつがるの葛西彩華さんがドライバーの無事到着を祈念して花束を贈呈、テープカットをして関係者一同トラックを見送りました。



ブランド認定品の初出荷



チエスボローカップ水泳駅伝大会

65チーム323名で夢を泳ぎつなぐ

8月5日、チエスボローカップ水泳駅伝大会が車力漁港マゲアビーチで行われ、県内外から65チーム323名が参加し、力泳を繰り広げました。

今年で18回を迎えたチエスボローカップ水泳駅伝大会（車力とバス市の直線距離にあたる1万200kmを、一チーム5人、全参加者の合計距離を毎年累計して泳ぎ切ろうという大会）は、台風5号の影響もあり前日のビーチフラッグス大会やイベント等が中止になり、ウエルカムパーティーが牛潟公民館に場所を移して行われました。

5日は強い風が吹き荒れるあいにくのコンディションの中、選手は入念な準備体操の後、福島市長の号砲とともに勢いよく海に飛び込み、家族や仲間たちから大きな声援を受けて力泳しました。競技は、風速11m/sにもかかわらず記録

を狙うチームや完泳を目指すチームといろいろなチームがあり、応援団からは「がんばれー」と声援が送られていました。また、水温も低かったことから、途中リタイヤする選手もありましたが無事、怪我もなく大会を終える事ができました。



これまでの通算達成距離は、4,197.67kmとなり、目標まであと6,002.33kmとなり、また今年も夢を次へつなぎました。



オープンクラス 2,000m

順位	チーム名	時間
1位	アロハワイ リターンズ	27分22秒
2位	脇坂組 A	27分54秒
3位	海自大湊 A(アルファ)チーム	28分09秒
4位	OSP:モテルオヤジはメロンがぶれ!! (by LEON)	29分31秒
5位	TDT A チーム	31分01秒

レディースクラス 2,000m

順位	チーム名	時間
1位	OSP:粒よりメロンギャルズ	35分39秒
2位	八戸スイマーズ メロン	37分34秒
3位	水泳塾	45分39秒

シニアクラス 2,000m

順位	チーム名	時間
1位	青森鉄人会	37分03秒
2位	八戸スイマーズ がんばる親父	39分32秒
3位	esfins 宮城	40分26秒
4位	TEAM A-RUN	47分55秒
5位	タケちゃんと仲間達	49分34秒

ジュニアクラス 500m

順位	チーム名	時間
1位	ドラゴングリーンピース	10分36秒
2位	マーメイド	11分08秒
3位	チーム河童	14分24秒

ハーフオープンクラス 2,000m

順位	チーム名	時間
1位	たかしファンクラブ	29分21秒
2位	八戸スイマーズ・元気が一番	30分25秒
3位	WAVE	30分56秒
4位	専求院水泳普及委員会	31分01秒
5位	八戸スイマーズ 気合	36分05秒

※風速11m/sにより、1人の距離を短縮
オープンクラス、レディースクラス、シニアクラス、ハーフオープンクラスは400m、ジュニアクラスは変更なし



つがる市自治会連合会 設立

7月6日、「松の館」でつがる市自治会連合会設立総会が開催されました。

福島市長は「合併協議会の協議事項であった自治会連合会の組織作りについては、地区により組織の形態が異なっていたが、根底にあるものは地域住民の福祉のための行動を行っているものであります。今後の地域づくりのために自治会連合会には協力くださるようお願いします」とあいさつを述べました。

総会では初代会長に長谷川良幸氏、副会長に原田恒博氏、神忠吉氏、今彦衛氏、林嗣郎氏、監事に加藤彰氏、坂本廉一氏が選任されました。



初代役員に選ばれた方々

第三回 旭富士杯県下小学校 隆の里杯県下中学校 相撲大会

123名が熱戦を繰り広げる

8月4日、森田町地球村スポーツパーク相撲場で、県内外から123名の小・中学生が参加して、第三回旭富士杯県下小学校相撲大会と第三回隆の里杯県下中学校相撲大会が開催され、手に汗を握る熱戦が繰り広げられました。

結果は次のとおり
●第三回旭富士杯

▽小学校団体

優勝 中泊道場(中泊町)

二位 舞戸小(鯉ヶ沢町)

三位 道場光(森田町)

三位 田舎館A(田舎館村)

▽新相撲団体

優勝 丹代道場(森田町)

二位 田子道場(田子町)

▽個人▽小学校一年

優勝 菊地 新つがるクラブ

▽小学校二年

優勝 山内 康(志道館)

▽小学校三年

優勝 越後谷知樹(つがるクラブ)



●第三回隆の里

▽中学校団体

優勝 志道館A(三沢市)

二位 志道館B(三沢市)

三位 道場光(森田町)

三位 田舎館A(田舎館村)

▽個人▽中学軽量級

優勝 中村 太一(田子中)

▽中学中量級

優勝 小島 久和(大戸瀬中)

▽中学重量級

優勝 保土澤陽大(志道館)



高校生に立ち向かう
大高静流さん(木造中)(左)



航空自衛隊 北部航空音楽隊演奏会



7月8日、「松の館」で航空自衛隊三沢基地所属の北部航空音楽隊演奏会が開催され、愛好家や市民らが多数訪れ演奏を楽しんでいました。

演奏会は、クラシック音楽やデイズニードレーなど計10曲が披露され、中でも航空音楽隊専属の歌手も現れ、今話題の「千の風になつて」を熱唱しました。

また、アンコールでは吉幾三さんの「立佞武多」を会場全員で歌って盛り上がり、最後は航空隊のテーマソングも披露され聴き応えのある演奏会でした。

第16回 @ff あおもり映画祭「縄文メロンアワード2007」を開催

7月14日、「松の館」で縄文メロンアワード2007が開催され多くの市民が訪れていました。

今年は、つがる市男女共同参画推進関連映画として「明日への記憶」が上映されおよそ350人の市民が鑑賞していました。

また、午後には津軽を舞台にした「五重塔」と他2作品も上映され、映画ファンにとっては楽しい1日になりました。

上映後にはガッツ石松さんと秋原正俊監督を迎えて楽しいトークショーが行なわれ、ガッツさんは「今年は暖冬というより暖雪で、地元の人でも温かかったね」と話し、秋原監督からは撮影秘話も聞け、ガッツさんの代名詞である「OK牧場!」も出て、会場もおおに盛り上がりました。

最後に、成田収入役から「つがるブランドを全国に発信するため頑張っていますので応援よろしくお願いします」と2人につがるメロンをプレゼントし、つがる市とつがるブランドをPRしました。



亀ヶ岡公園に植樹

7月5日、亀ヶ岡公園で市観光協会の植樹祭が行われ、関係者ら25人が植樹を行いました。

はじめに伊藤良二観光協会会長が「今年も植樹祭を開催できたことは皆さんのおかげであり、感謝いたします。また、後3～4年すると桜とツツジ祭りが開催できるほどになるのかな?と思っています。全国に誇れる公園にしたいと思いますのでご協力お願いします」とあいさつ、福島市長から「今年の4月には、日本さくら協会より「さくら功労者」としてつがる市が表彰されましたのも皆さまの努力の結果でありますので、これからも良い環境づくりを継続してもらいたいと思います」とあいさつを述べました。

市観光協会では、つがる市を桜とツツジでいっぱいになりたいという思いで毎年植樹を行っているもので、この日は、しだれ桜の苗木5本（木造ロータリークラブ寄贈）とツツジ50本（うち10本は、廃校になった館岡小学校から移植）を植樹しました。



話題

10%お得な商品券

—商工会—

7月20日、つがる市商工会で10%おまけ付きの共通商品券が発売されました。

商工会では、1人でも多くの方に購入してもらいたいと1人5万円の上限で販売したにもかかわらず、10%お得ということもあり好評のうちに完売、商工会では、「お買い物は、つがる市で！」を合言葉に、「たくさんの方が購入してくれてありがたいです」と話していました。



願いをこめて灯ろう流し

7月20日、下木造の古田川で夏の風物詩となっている灯ろう流しが行われました。

灯ろうには「家内安全」「商売繁盛」「交通安全」など参加者の願いが書かれており、次々とくっば広場から流されました。

ゆっくりと流れる自分の灯ろうを見つけて、静かに手を合わせて、1年間の祈りを込めていました。



一足早い夏のタベ

—豊富町—

7月15日、むらおこし拠点館「フラット」で納涼祭が行われました。

農産物や加工品の特売所も設けられ、市内外から多くの人々が訪れ買い求めていました。

また、屋外特設ステージでは、ビンゴ大会や生バンド演奏、J A 富沼女性部によるよさこいソーランなどが披露され観客を魅了していました。



市内の海水浴場で海開き

—車力漁港—

7月22日、出来島海水浴場とマグアビーチ(車力漁港)で海開きが行われ、海水浴シーズンの安全祈願が行われました。

マグアビーチでは、訪れた人を心良く迎えようと、毎年恒例となっている海岸清掃も行われ、約300人の市民や米軍関係者が清掃ボランティア活動を行い、空き缶やペットボトル、流木などを拾い集めました。

拾い集めたごみはトラック3台分もあり参加者は、ごみの多さに驚いていました。

海水浴シーズン前に清掃ボランティア —出来島海岸—

7月6日、木造西中学校生徒、教職員、PTA約100名が出来島海水浴場の清掃活動を行いました。

木造西中では海水浴場の清掃活動を5年前から行っており、各班に分かれて海水浴場の清掃をしました。

今年は、例年よりもゴミが少なかったが、それでも打ち寄せられた木片や空き缶等で、ごみ袋はいっぱいになり生徒らは汗を拭いながらトラックへ運んでいました。



街の



普通救命講習会

ー消防本部ー

7月8日、市消防本部で普通救命講習会が開催されました。講習会は木造地区消防団とつがるライオンズクラブが共催で行ったもので、およそ50名の参加者が受講しました。講習会では、消防職員の指導を受けながら講義と実技講習が行われ、応急手当の基礎知識や救命処置、レスキュー人形を使った心肺蘇生法とAED（自動体外式除細動器）の使用方法等の知識を学び、海水浴場や夏祭り会場での万一の事故に備えていました。

利用者感謝デー「社協夏祭り！」ー松の館駐車場ー

7月24日、社会福祉協議会の夏祭りが盛大に開催されました。福島弘芳社会福祉協議会会長は「利用者や地域住民に感謝の意を込めて様々な催し物を準備しましたので、今日1日楽しんでください」とあいさつ、オープニングでは登山ばやしや職員による寸劇が披露されました。祭りでは、木造中・木造西中・館岡中・木造高・木造高稲垣分校の生徒達37名がボランティアとしてがんばり、参加者の介護や出店の手伝いに汗を流していました。



しげた保育園児が交通安全の呼びかけ

7月20日、しげた保育園の園児21名がつがる署と安全協会稲垣支部と合同で「夏の交通安全県民運動」に先駆け交通安全街頭指導を行いました。

園児たちは、「交通事故に気をつけて安全運転をお願いします」と手作りのマスコット人形とチラシをドライバーに手渡し、交通安全意識の高揚と交通ルールの遵守を習慣づけ、交通事故防止の徹底を呼びかけていました。

健康ウォーキング教室（4回目）ー車力地区ー

7月17日、第4回の「健康ウォーキング教室」が車力地区で行われました。

29名の参加者は、自分のペースを保ち健康増進のためにテンポよく歩いており、今回は車力ふれあい会館を出発し車力中学校グラウンド周辺を通り、むらおこし拠点館「フラット」を折り返す約7.3Kmのコースで、初心者もベテランも心地よい汗をかきながらゴールを目指していました。

次の開催は、8月21日に柏地区で行われます。



全国囲碁大会で優勝するぞー

7月1日に行われた第28回全国少年少女囲碁大会県予選で優勝した豊川小学校5年の斎藤大樹君が、6日福島市長に優勝報告と全国大会での健闘を報告しました。

福島市長は「全国大会では、一つでも多く勝ってほしい」と激励しました。

斎藤君は昨年準優勝、今年は3戦全勝で優勝と見事な戦いぶりを見せ、7月31日、8月1日に日本棋院会館で開かれる全国大会に出場。